

【第 666 号】

発行日 2026年1月14日

発行責任者 喬木村公民館長

林 司

編集責任者 公民館広報部長

池田 英明

印刷 龍共印刷株式会社

# 町民新聞

写真：喬木カメラクラブ 仲田 昭二

題字：真浄寺書道会 木下 里依紗





加賀谷 怜玖



梶間 恵陽



久保田 泰広



佐藤 憲介



下岡 真緒



萩原 新



長谷川 心美



林 大斗

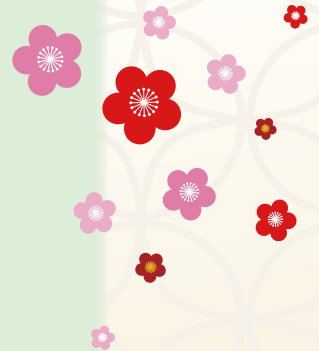
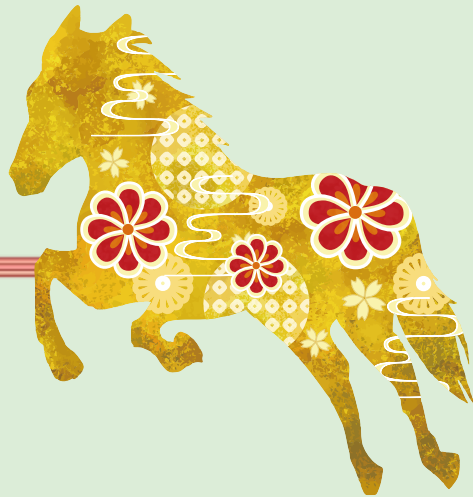


原 蒼輝



原 政義

# の抱負



あたる小学5年生に聞きました。  
るい一年になりますように!  
になる皆さん



丸山 瑛太



三石 啓太



宮澤 明由奈



宮下 真綾



湯澤 孝太



神崎 愛乃



小池 里桜



小出 弥



城田 希望



森川 礼彩



福澤 紘希



市瀬 碧



市瀬 琴葉



市瀬 日菜



大平 弦



竹村 潤奈



筒井 創也



仲田 瑠愛



中村 莞爾



西元 悠



# 2026年

新年に寄せる抱負を年男・年女に  
皆さんの目標が達成される明  
小学6年生



平澤 咲



福士 誠太



舟登 京介



牧内 結叶



松枝 頼子



湯澤 晴真



吉川 愛莉



吉川 洸太郎



仲田 聖琉



池本 圭河

# 棕鳩十 生誕120周年 第38回 棕鳩十 夕やけ祭



## 第38回 棕鳩十夕やけ祭の報告

棕鳩十記念館・記念図書館長 木下 潤児

第38回「棕鳩十夕やけ祭」を11月30日（日）喬木村福祉センターにおいて開催いたしました。

表彰式では、棕鳩十賞、優秀賞を受賞された皆さんに市瀬直史村長、信濃毎日新聞社飯田支所長竹内義則様より表彰を行いました。その後、受賞者を代表して江塚ひかりさん（飯田市立松尾小6年）に感想文を発表していただきました。

今年の読書感想文コンクールは、県内外から434点の応募がありました。今回も学校をあげて取り組んでくれた小中学校が複数校見られました。

した。喬木第一小学校、喬木第二小学校、喬木中学校も各学年から応募をいただきました。喬木村からは「棕鳩十賞」に山越穂乃さん（喬木第一小3年）、松島杏佳さん（喬木中2年）、「優秀賞」に篠原颯汰さん（喬木第一小4年）、下岡優佳さん（喬木中2年）の4名が受賞されました。

午後2時半からは、棕鳩十



さんのお孫さんである久保田里花さんによる記念講演会「祖父の愛したものの、そして未来への祈り」を実施しました。参加者のみなさんからは、「身近にいた方ならではの棕鳩十のお話が聞けてよかった」「棕鳩十先生のお人柄が思い出されました」などの感想を聞くことができました。

また、記念館・記念図書館では、棕鳩十先生の生誕120周年を記念した展示を実施しました。企画展「ひびく棕鳩十のことば」では、昨年度、飯田市の吉川秀一さんより寄贈された色紙等に書かれた棕鳩十の名言を展示しました。「棕鳩十と伊那谷の自然Ⅱ」では、棕鳩十が愛した伊那谷の自然について、作品に記された文

章をもとに写真等で紹介する展示を行いました。展示期間中は、県内はもとより、県外からも多くの方にご来館いただきました。さいごに、ご後援をいただいた信濃毎日新聞社、長野県教育委員会及びコンクールの審査に当たっていただいた審査委員の皆様、夕やけ祭の企画、運営を担っていただいた実行委員の皆様、他関係する全ての皆さんにお礼を申し上げます。第38回棕鳩十賞読書感想文コンクールの報告といたします。

### 令和7年度「第38回 棕鳩十賞読書感想文コンクール」入賞者一覧

#### ◎棕鳩十賞

部門	氏名	学校名・住所
小2年	塩沢 心菜	安曇野市立明南小学校
小3年	山越 穂乃	喬木村立喬木第一小学校
小6年	江塚ひかり	飯田市立松尾小学校
中2年	松島 杏佳	喬木村立喬木中学校
一般	尾藤 克之	東京都中野区

#### ◎優秀賞

部門	氏名	学校名・住所
小2年	鈴木 美文	東京都北区立都の北学園
小4年	篠原 颯汰	喬木村立喬木第一小学校
小5年	鈴木 紫文	東京都北区立都の北学園
中2年	下岡 優佳	喬木村立喬木中学校
一般	西園多佳子	栃木県宇都宮市



令和7年度

# 第35回 喬木村駅伝大会



第35回喬木村駅伝大会が11月16日(日)に行われました。当日は小学生から一般まで20チームの出場がありました。コースは、富田郵便局前をスタートし、芝グラウンドをゴールとする総距離11.0km(7区間)で、熱い闘いが繰り広げられました。

結果は、中学男子3チームが上位を独占。若い力が発揮されました。ゴール地点の芝グラウンドでは豚汁の提供やキッチンカーが並び賑わいをみせました。多くの声援が飛び交う中、つなげられたすき。皆が一つになり、とても清々しい大会となりました。

大会運営にご協力いただいた方、大会に参加いただいた方におかれましては、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



順位	チーム名	記録
1	Good boys!	0:42:14
2	Passion Boys	0:42:39
3	喬一	0:44:55
4	喬木村役場 青年部	0:45:06
5	糸つつもたれつ	0:45:32
特別賞	Passion Boys	
	喬木ミニバスケットボールクラブ	

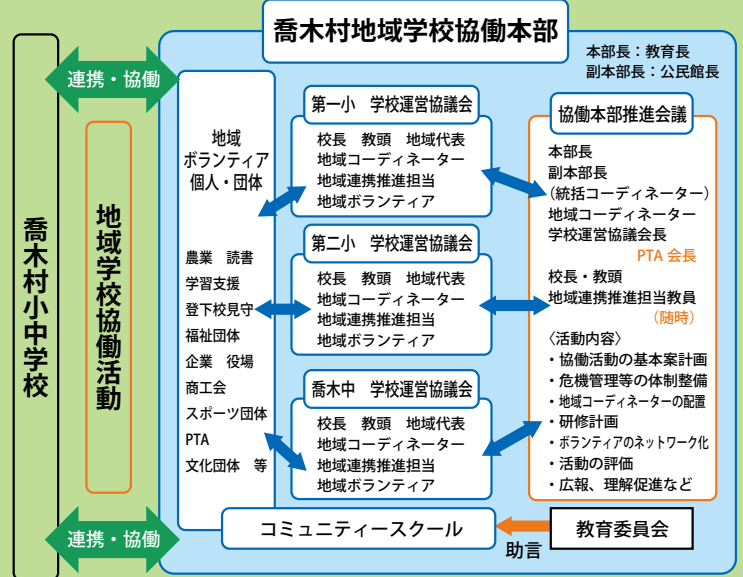
## 喬木村地域学校協働本部ってなんですか？

地域と学校が連携・協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく地域学校協働活動をすすめる、「ふるさと喬木に愛着と誇りを持ち、未来をたくましく生きる力を持った児童生徒の育成」を目指すとともに、地域の教育力の向上と活性化を図るための組織です。

本部長は教育長で、図に示したような村内外の方々で組織され、活動として中学の喬木塾での教科指導、ふるさと学習として米や小麦の栽培・食育、阿島傘、富田焼など、キャリア教育として職場体験学習やサマーチャレンジボランティア、小学生の読書活動としてのボランティア、部活やクラブ活動の指導など、多方面で学校と子ども達を支えています。

次回は、学校運営協議会合同会議について報告します。(公民館長)

喬木村地域学校協働本部と地域学校協働活動の関係図 (R4.12)



### 公民館文化部楽遊塾

## 餅つき・鏡餅作り体験

12/7  
開催



餅をめがけて、エイッ!

昨年が続いて、今年も鏡餅作りを企画しました。インフルエンザの影響か、参加者は3組8名と少なかったですが、わきあいあいと楽しくできました。まず機械でついたお餅を鏡餅にしました。粉まみれになりながら、皆さん上手に丸めていました。そのうちに餅米が蒸し上がり、いよいよ杵と臼での餅つきが始まりました。「お父さん頑張れ〜」と子ども達の声援もあり、どんどんお餅にできあがっていきます。最初は「やらなくて良いです」と言っていたお母さんや子供達も杵を持ってついてくれて、みんな「よ〜よ〜よ〜よ〜よ〜よ〜」とかけ声をかけ、参加者一丸となって、つきあげました。つき上がったお餅はとてもおいしく、お土産もいっぱい出来て、皆さん満喫していただけたかと思えます。

参加して下さい下さった皆さま、ありがとうございました。



餅は熱いうちに、くるくる回して・鏡餅



きな粉にあんこ、おいしかったなあ〜



鏡餅はこうやってつくるんだね〜

## 令和7年度 喬木村夜間ソフトボール連盟 第51回大会リーグ戦 結果表

### 【優勝決定戦】 試合結果表 優勝 伊久間エンゼルス

イニング	1	2	3	4	5	6	7	計
伊久間K	2	4	1	1	4			12
伊久間A	6	0	0	0	7x			13

### Aリーグ 優勝 伊久間カッターズ

順位	チーム名	伊久間K	上平龍王	富田B	帰牛原S	富田L	寺の前	南D	勝敗	負数	分数	勝点
1	伊久間K	○	○	○	○	○	○	□	6	0	0	6
2	上平龍王	●	○	○	○	○	○	○	5	1	0	5
3	富田B	●	■	○	●	○	○	○	3	3	0	3
3	帰牛原S	●	●	■	○	□	○	○	3	3	0	3
3	富田L	●	●	○	●	○	○	○	3	3	0	3
6	寺の前	●	●	●	■	●	○	□	1	5	0	1
7	南D	■	●	●	●	●	■	○	0	6	0	0

### Bリーグ 優勝 伊久間エンゼルス

順位	チーム名	伊久間A	町天狗海	勇龍	北久ら馬	南志ら鳩	帰牛原D	伊久間55	勝敗	負数	分数	勝点
1	伊久間A	○	○	○	○	○	○	○	6	0	0	6
2	町天狗海	●	○	○	△	○	○	○	4	1	1	4.5
3	勇龍	●	●	○	△	○	○	○	3	2	1	3.5
4	北久ら馬	●	●	●	○	○	○	○	3	3	0	3
5	南志ら鳩	●	△	△	●	○	○	○	2	2	2	3
6	帰牛原D	●	●	●	●	●	○	○	1	5	0	1
7	伊久間55	●	●	●	●	●	●	○	0	6	0	0

印：○勝ち、●負け、△引き分け、□不戦勝、■不戦敗

1勝=1点、引き分け=0.5点で加点。

※勝ち点 勝ち点が同点の場合は、①勝数の大 ②負数の小 ③以上で同じなら同順位とする。ただし、1位の決定は直接対決による。引き分けの場合は決定戦を行う。

### たかぎ短歌会 師走歌会 詠草

豆粒ほどだった胎児健やかに孫の婚礼うからにて祝ぐ

知久 美子

吾が病めば今年の大根痩せて見ゆ届いた絵手紙太き清白

小椋 りよ

久々に出席すれば歌会は個性ゆたかに生き々と見ゆ

田中 妙子

童謡の「森のくまさん」生きるため人里荒らし駆除さるると

市瀬 准子

孫三人親が願いて名に込めし「心」の一字を貰い育てり

内山 和子

天竜の川面に朝霧立ちのぼるさながら龍の昇るがごとし

塩澤真由美

単身で赴任せる子は帰省して愚痴一つ無し苦勞多きに

木下 寿子

明日からは産休というヘルパーとしばし別れの握手を交わす

木林 睦枝

霜降りて里芋掘りは骨が折れ年を重ねりや重さ堪える

内山 和子

矢筈峠越え行く先々の紅葉は夕陽に映えて錦絵のごと

和田 京子

つやつやと真白に光る新米は何処の人の手によるものか

元島 康子

掃除ロボスイッチオンして紅茶飲む叩きは要らぬ障子無き部

福澤 亀人

### 喬木村俳句会 師走句会 詠草

立冬や友の婚約聞きし頃

木下 瑞恵

山茶花や小さき紅のほだけゆく

古民家に笙の響きや冬に入る

矢澤恵美子

草の葉の朝陽に光る霜だたみ

冬の霧包まれ浮かぶ高架橋

松島みのり

高窓の淡紅病衣冬の空

冬木立友訪ね行く飯田線

宮島 高枝

建前の思ひ出浮かぶ冬うらら

冬はじめ穏やかならぬニュース多々

西元くにこ

戦なき年月すぎて石路の花

夜半の秋オカリナの音の谷渡り

村山たか子

山霧や登り下りし水墨画

外灯も黄昏早し冬の月

原 美恵子

ハイハイの曾孫迎へる大晦日

母の手を握り締める子雪催

松葉 孝子

核廃絶のトーチ拡がれ冬銀河

冬の雨阿島番傘ちらほらと

市橋 ヨリ

かるた取り右に左に手が弾む

熊に会ひ歩行器にぎる老いの夢

吉川てる子

銀杏散る僧無き寺に風の経

### 激励会(ラグビー) (牧内雄也さん・筒井南心さん)

飯田高校ラグビー班が第105回全国高校ラグビー大会県予選を勝ち上がり、東大阪市の花園ラグビー場で開幕する全国大会に2年連続の出場を果たしました。同ラグビー班には牧内雄也さん(阿島寺の前・3年)、筒井南心さん(阿島南・3年)が所属しており、12月に飯田市役所で行われた全国大会出場壮行会において、村と体育協会からお二人に激励がありました。多くの方の期待を力に変え大舞台に挑んだお二人。1回戦の倉吉東(鳥取)戦では82-10の快勝で4大会ぶりに初戦を突破しました。



# お知らせ

## ふるさとづくりフォーラム

喬木村公民館のプロジェクトX

～みんなで喬木村 FUTURE 計画やらまいか～

日時：令和8年2月8日(日)

13:30～15:30

(開場 13:00～)



場所：福祉センター多目的ホール

内容：『さあ！喬木村をさらに前へ！

村が元気なら自分も元気になる！』  
みなさんの「暮らしの知恵」を結集して、村の魅力を今一度考え、喬木村の未来を話し合ひましょう。

このプロジェクトXの挑戦者はあなた！

申込：1月30日(金)までに公民館(33-2002)又は上記の二次元コードよりお申し込みください。

## 第3回 公民館平和学習会

日時：令和8年2月28日(土)

14:00～16:00(開場 13:30～)

場所：福祉センター多目的ホール

講師：菅沼 利光 先生

演題：椋鳩十が「動物物語」に込めた祈り  
～戦中・戦後の動物物語をたどって～

入場：無料、申込不要

お問合せ 喬木村公民館 0265-33-2002

# あのとき、このとき

公民館長



♪あなたは 稲妻のように  
私の心を 引き裂いた 蒼ざめた心  
ふるわせて 立ちつくすひと  
くすひとり 立ちつくすひと  
言えば、私の同年代の方なら「アリス・冬の稲妻」と分かります  
と思います。70年代後半の曲。「Rolling thunder」が、別れの深い感嘆と恋愛が瞬時に崩れていく様を想像させますね。

どうも日本海側(特に北陸から新潟)で「冬季雷」と言い世界的にも珍しいそうです。大陸からの冷たい季節風が日本海の温かい海面の水蒸気を含んで積乱雲を発達させ雷をもたらします。夏より低い場所が発生し、エネルギーも大きく危険だそうです。  
作曲した谷村新司さんは北陸出身?と思ったら、大阪の出。どうやって冬の稲妻の衝撃の強さを知り、詩にしようと考えたのでしょうか。

昨年6月から9月の落雷発生数をみると(気象庁調べ)、過去8年間で2番目に多く、150万回を越えています。落雷は9月に集中しています(例年は8月)。秋雨前線の影響で例年の2倍以上を観測しました。この冬では、冬型の気圧配置が強まる予報も出ていることから、冬季雷が発生しやすくなるようです。  
ちなみに、24年の雷の発生件数は、15年の1.7倍だそうです。これも、地球温暖化により積乱雲が発生しやすいためとか。  
一昨年亡くなった谷村氏も、1977年に作詞した頃にはこんなに環境変化が起こるとは思わなかったのでは。

(林)

## 今回の表紙

題字

真浄寺書道会 木下 里依紗さん(喬木中学校3年)

今年の干支・馬年にちなみ、優れた馬が活躍したといわれる殷の時代の甲骨文字に挑戦しました。

写真

仲田 昭二さん(喬木カメラクラブ)

城原で見つけたこの馬の名前は裸足(はだし)。男の子です。みなさんの年が何事も“うま”くいきますように！

## ご意見・ご感想 お待ちしております

館報を読んで思ったこと、感想をお寄せください。寄稿も大歓迎です！  
喬木村の公民館報をみんなで作っていきましょう！

☎ 0265-33-2002

mail : syakai@vill.takagi.lg.jp

年越し、そして新年を皆様どのように過ごされたでしょうか。子ども頃、実家では毎年餅を五臼つき、氏神、地の神、山の神、水の神に供えていた。嫁ぎ先では、年取り、元旦、二日のすり初めの御膳を神棚と仏壇に供える。一年を過ごせたことに感謝し、新しい一年が良き年となるよう祈る風習を今でも体験している。省略化し、簡単に、楽に、という今の時代の中で、この風習はとも時代遅れかもしれない。特定の信仰があるわけではないが、日本人らしい様々なものに神宿るといふ考え方はとても好きだ。だからこそ今年も気持ちを新たに、静かに手を合わせた。



編集後記